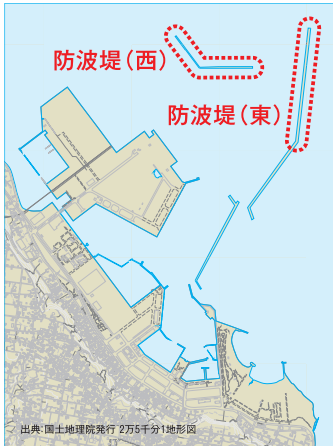




国土交通省

清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト 御前崎港 防波堤の整備

(1978~2017)



御前崎港は、静岡県内の木材需要量の急増による港勢の拡大に伴い、1975年（昭和50年）4月、重要港湾に指定されました。引き続き、更なる近代港化に向けて、1976年（昭和51年）、西埠頭岸壁の建設や防波堤の延伸・新設等を計画決定し、そのうち、港全体の静穏性や船舶航行の安全性を確保する上で最重要となる防波堤については、運輸省（現・国土交通省）の直轄事業として整備することになりました。

1978年（昭和53年）に防波堤（東）、1988年（昭和63年）に防波堤（西）の建設工事を開始し、2017年（平成29年）に、これらの防波堤が完成しました。

現在は、東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模地震に伴う津波による防波堤の倒壊を防止するための改良工事（粘り強い構造の導入）を進めています。

- 主要施設／防波堤（東）（延長1,200m）（2017年3月完成）、防波堤（西）（延長870m）（2009年12月完成）
- 構造形式／防波堤（東）：消波ブロック被覆堤、防波堤（西）：消波ブロック被覆堤（一部スリットケーソン堤）
- 事業期間／1978年（昭和53年）～2017年（平成29年）



防波堤（東）・（西）整備前の御前崎港
(1979年4月)



防波堤（東）・（西）工事中の御前崎港
(1996年)



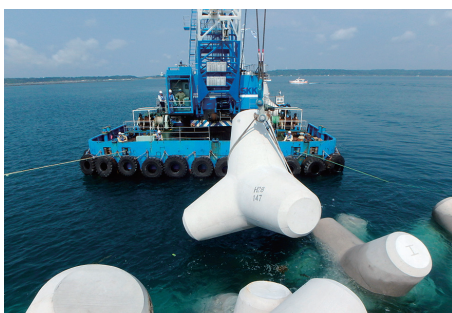
現在の御前崎港
(2021年2月)



防波堤（東）ケーソンの据付作業
(2014年1月)



防波堤（東）上部コンクリートの打設工事
(2014年1月)



防波堤（東）80t型消波ブロックの据付作業
(2017年7月)

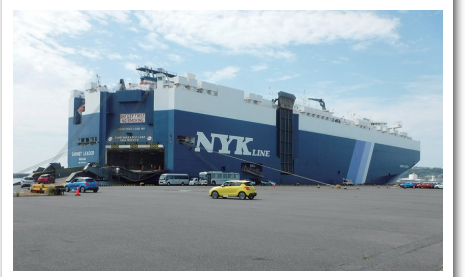


清水港湾事務所港湾業務艇「ふじ」による防波堤（東）の施設点検
(2021年5月)



防波堤の効果
(港内の静穏性向上による船舶の安全・安定利用)

御前崎港で初のクルーズ船「ばしゅいっくびいなす」が寄港
(2019年8月)



西埠頭岸壁に着岸する自動車運搬船
(2021年5月)